

3 コロナ禍における健康教育等の実施状況について

(1) 骨粗しょう症予防教室

<コロナ禍における変更点>

- 令和2年度からは、受付時間を細かくグループ分けする、集団健康教育を中止するなど、参加者が密にならないよう工夫している。また健康教育の代わりとして掲示物を充実させ、参加者がウォークスルーで見られるようにした。

<参加者数>

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
あなたの骨の健康度チェック (若骨) (対象：18～64 歳女性)	回数	4	4	4	3
	人数	106	112	117	80
65・70 歳の骨粗しょう症検診 (老骨)	回数	4	4	4	2
	人数	162	125	106	52

(2) 今から始める健康づくりシリーズ

<コロナ禍における変更点>

- 年 4 回（各回テーマ：脂質異常症，免疫，高血圧，フレイル）実施している。
令和3年度は、令和2年度に引き続き、参加者の定員を 35 人から 15 人に減らし、会場内が密にならないようにした。
- 従来はウォーキング，立位・座位姿勢の確認，音楽に合わせた運動を実施していたが，令和2年度からは参加者が自席から離れずに参加する形式にした。運動指導士は，テーマと関連した運動についての内容を交えながら，椅子の周りで行える運動の指導を行っている。
- 内容を精査し，講話時間が長くないようにして実施している。

<参加者数>

		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
今から始める健康づくり シリーズ (対象：74 歳以下の市民)	回数	4	4	4	4
	人数	56	61	41	21

(3) ピンクリボンキャンペーン

令和元年度は駅前でのチラシや啓発グッズの配布、令和2年度はたづくり東館エントランスホールでの展示・啓発グッズの配架を行った。

今年度はトリエA館地下1階コンコース（京王線調布駅改札先）で10月1日～10月31日まで、乳がんへの関心を高め、乳がん検診の受診率向上を目的に、ピンクリボンキャンペーンを実施した。

内容：デジタルサイネージで乳がんの罹患状況や検診受診状況のパワーポイントを上映

啓発パネルを設置

乳がん検診ハンドブックや啓発用のマスク等を入れたグッズを配架

ディアーズフットボールクラブから御寄附頂いた啓発グッズを配架

会場の様子



配布物

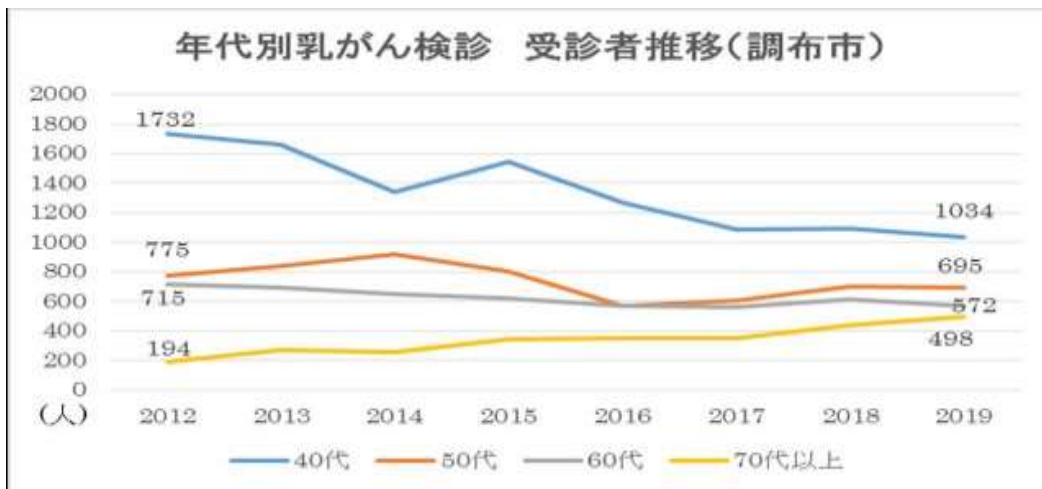


2021/10/18 09:15

参考① (展示パネル・デジタルサイネージ・配布グッズに同封)



参考② (展示パネル・デジタルサイネージ)



参考③ (デジタルサイネージ)

乳がん検診受診者年代割合(R元年度調布市)

